

つなぐ

さいちゅう
レター2023年
5・6月号
vol.33

内視鏡センター長

鳥海 史樹

苦痛の少ない内視鏡検査・治療をめざして 内視鏡センターの取り組みを紹介します

当院では昨年より名称を内視鏡室から内視鏡センターに改め、内視鏡検査・治療に取り組んでいます。最新の内視鏡の導入や、鎮静剤を使用するなどさまざまな工夫をすることで、少しでも苦痛を減らせるように努めるとともに、院内の他の診療科との連携で、安全性の高い内視鏡検査を行っています。

■内視鏡センターについて教えて！

当センターでは例年、上部消化管内視鏡検査5500～6000件程度、下部消化管内視鏡検査2500～3000件程度、胆膵疾患に対するERCP（内視鏡的逆行性胆道膵管造影）250～300件、気管支鏡検査100件前後を行っており、内視鏡治療については、早期がんに対するESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）が約150件と増加傾向にあります。

当センターは消化器内科医、消化器外科医、呼吸器内科医、看護師、コメディカルスタッフで構成され、7人の内視鏡専門医と6人の内視鏡技師を中心に、適切かつ安全な検査・治療を提供しています。内視鏡ブースは全部で6ブースあり、そのうち5ブースには最新の内視鏡機器を導入し、残り1ブースには放射線機能を併設し、なるべく待ち時間が少なく無駄のない検査・治療を心がけています。

■さいちゅうの内視鏡センターの特徴は？

病気の早期発見はもちろんですが、内視鏡を入れるのが苦手な患者さんもリラックスして受診できるように、スタッフが積極的にお声かけをするなど精神的なサポートにも力を入れています。少しでも苦痛が緩和されるよう鎮静剤を使った内視鏡検査では、検査中は血圧や酸素の取り込み具合をモニター、検査後はリカバリー室でお休みいただくなど、十分に

安全に配慮した形で行っています。

当院の強みは総合病院ならではの総合力の高さです。内科、外科はもちろん、ほぼすべての診療科がそろっているので、いろいろな併存疾患をお持ちの患者さんや、重症の患者さんも当院で治療を完結できます。また、吐血や下血などによる緊急内視鏡検査にも24時間365日対応しています。

■患者さんへのメッセージ

内視鏡検査はどうしても患者さんに負担が大きく、特に初めての方にはつらい、怖いというネガティブなイメージを与えやすい検査です。どんな検査なのかわからない事が不安につながっていると思いますので、当院では、安心して検査を受けていただけるように、通常の文章での説明に加えて、検査の内容をアニメーションで視覚的にわかりやすく説明するという試みを始めました。

内視鏡検査はがんによる死亡を減らす大きな手段の一つです。少しでも苦痛を減らせるようにスタッフ一同取り組んでいますので、安心して受診してください。



内視鏡検査室の設備
紹介はこちらから→



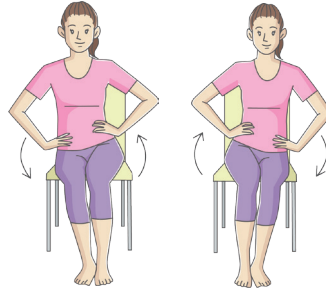
健康づくりの豆知識

＼体幹を鍛えて美しい姿勢をキープしましょう／

ヒップウォーク

- ①硬めの椅子に浅く座ります。
- ②腰に手を置き、お尻を左右交互に持ち上げます。(踵を床につけたままにしてください)
- ③お尻を上げた際に、体が大きく傾かないように注意してください。

体幹(特に腹筋群)を効果的に鍛えることができ、良い姿勢を保つ効果が期待できます。



1セット30回程度
やってみましょう!

理学療法士
小幡加奈さん



お知らせ

院内感染対策のお願い

当院では厚生労働省の指針の下、感染防止対策のため、院内では引き続き、**マスクの着用と手指消毒**の実施をお願いしています。当院には、ご高齢者や感染による重症化リスクの高い患者さんが多くいらっしゃいます。ご来院の皆様のご理解とご協力を引き続きよろしくお願いいたします。



TOPICS

視覚障害者への移動支援システム「ナビレンス」を導入!

この度、視覚障害者の移動を音声で支援するアプリ「ナビレンス」を導入し、2023年4月1日より運用を開始しました。このシステムは、院内約30カ所に貼られているQRコード(タグ)を読み込むことで、目的地の内容・方向・距離などの案内が表示されるとともに音声で読み上げられる仕組みです。「ナビレンス」の導入は、総合病院カテゴリでは世界初となります。今回の最先端アプリの導入は、視覚障害者や聴覚障害者が安心・安全に受診しやすい環境を整備することを目的としています。お手洗いやエレベーターなど公共性の高い設備への誘導はもとより、今後院内掲示サインの多言語化にもこのアプリで対応していく予定です。

アプリのダウンロードはこちら▼



ご寄付のお知らせ

「なでしこ基金」へのご寄付ありがとうございました。

2023年2月～3月

1,000万円... 神野 茂 様
400万円... 小倉 律子 様
100万円... 佐藤 正明 様
20万円... 匿名 様
10万円... 匿名 様

◇2022年度「なでしこ基金」より下記品を購入いたしました。

1. 手術支援ロボット「hinotori」
2. トレーラーハウス(屋外防災倉庫)
3. 病院用救急車
4. 視覚障害者向けアプリ「ナビレンス」

ご報告とともにお礼申し上げます。院内で活用させていただきます

発行:海老原 全 編集:広報委員会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-17
TEL:03-3451-8211 FAX:03-3457-7949



社会福祉法人 豊済生会支部 東京都済生会
東京都済生会中央病院

